

児童発達支援事業における自己評価結果(公)

公表:令和3年3月31日

事業所名 児童通所支援事業所 スーパームーン

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・平米数は基準を満たしている。	・今後も職員で話し合いを行いながら、環境設定の見直しを随時行う。
	2 職員の配置数は適切である	○		・配置基準は満たしている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・事業所内はバリアフリーである。(玄関、部屋、トイレ)	・子ども達それぞれに合わせたスケジュールや構造化した環境を整える。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・掃除、喚起は徹底して行い、清潔に努めている。	・今後も徹底した掃除、喚起を行い玩具等のアルコール消毒を小まめに行う。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・職員全員参加している。	・今後も継続する。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・保護者の意見を取り入れる為、独自のアンケート調査を行っている。	・アンケートの集計を行い、保護者からの意向等把握している。意向を把握し、職員間で話し合いを行い業務改善につなげている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・保護者向け自己評価表と事業所向け自己評価表をホームページにて公開している。 ・法人の会報誌は配布を行っている。	・ホームページの更新は不十分である。随時更新していく必要がある。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・第三者委員会の評価を今後検討し、業務改善に努める。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・外部研修や法人内研修に参加し学んでいます。	・今年度も専門職(CP)に在所して頂き、実践を踏まえながら研修を行う予定である。
適切な	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・ニーズの整理表を見ながら課題の整理表を作成、分析しながら計画書の作成を行っている。	・今後も定期的に行う検討会議を通して、個別支援計画書の作成をしていく。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・標準化したアセスメントアセスメントツールを使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・保護者からニーズを聞き取り、それに基づいて「発達支援」「家庭支援」「地域支援」等盛り込んだ具体的な計画を立て、個別支援計画書の作成を行っている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・個別支援計画書に基づいた内容入れ、活動を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・個々の目標を照らし合わせながら、チームで計画会議にて活動内容を決めている。	・月間、年間計画等事前に会議を行いながら、見直しを持ち計画を立てる必要がある。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・季節の行事等も取り入れながら様々なプログラムを企画している。	・年間計画を立て、それを基に月案、週案を立てる。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・個別課題の日と集団課題の日を設けている。	・今後も個々の個別・集団療育の組み合わせを行いながら計画を立てていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・支援開始前にミーティングを行い、支援内容、役割分担の確認を行う。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・支援終了後と翌日の朝に振り返りと情報共有を行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・支援記録の様式の変更を行った。 ・毎回、療育の記録は連絡帳と支援記録に残している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・半年に1回のモニタリングを基本とし実施している。	・今後も定期的に検討会議を開き、必要に応じて個別支援計画の見直しやモニタリング時期の調整を行いたい。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者及び、担当職員が参加をしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・月に1度、圏域の療育センターが主催する連携会議に出席している。 また、地域の福祉課や相談支援事業所との連携を図っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		・現在は医療的ケアが必要な子どもの療育は行っていない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		・現在は医療的ケアが必要な子どもの療育は行っていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・送迎時に担任の先生と療育内容をお伝えしたり、園での様子の聞き取りを行い情報共有に努めている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・必要に応じて学校との面談やサポートブックの作成を積極的に行い、療育で行ってきたことを伝え共有を図っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・子ども総合療育センター定期支援を受け、助言等を頂いた。	・今後も子ども総合療育センターの定期支援を予定している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、他事業や施設との交流を持つことは難しかった。今後は地域との連携を図り、事業所の役割を見出すため検討していきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・月に1度、圏域の療育センターが主催する連携会議に出席している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎時や連絡帳、電話連絡等で密に連絡を取り、共通理解を図れるようにしている。	・今後も信頼関係構築に努める
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・必要に応じて実際に療育へ参加して頂くなど、関わり方の支援を行っている。	・母子療育等も視野に入れ、まずは希望を募る等して直接支援を増やし保護者支援に力を入れたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・利用契約時説明を行っている。その際は、わかりやすい言葉で丁寧に説明を行うよう心掛けている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・児童発達支援のガイドラインに基づき支援計画の作成を行っている。面談の際には計画書を掲示し、支援内容について説明をし同意を得ている。都合がつかず、面談が困難な場合には、送迎時に説明を行っている。	・保護者の予定と合うよう日程調整を行い、面談をし同意を得て計画の実行をする。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・相談は随時受け入れている。必要な助言と支援を行っている。必要に応じて各関係機関との連携を図っている。	・今後も継続していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・12月に茶話会と親子みかん狩りを行った。	・新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、今後も企画していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・相談は随時受け入れ、対応可能な時間を伝えている。	・保護者の相談に今後も真摯に向き合っていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・法人の会報誌を配布しており、活動の様子は伝えている。	・事業所の行事予定や年間計画等を作成し配布していきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人情報については同意をとっている。また、取り扱いについては十分配慮を行っている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・積極的に視覚支援等取り入れ、情報伝達の為のツールの準備を行っている。	・今後もわかりやすく意思疎通ができるよう配慮を行う。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為開催はできなかったが、法人の行事への招待を行っている。	・新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、今後も継続する。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・各マニュアルの作成を行っている。	・再度、保護者へマニュアルの周知を行い、訓練等の報告も行う必要がある。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・計画的に訓練を行っている。	・今後も計画に沿って実施する。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・看護師同席のもと契約時に確認を行っている。利用開始後も、定期的に服薬内容等の聞き取りを行っている。服薬に関しては、服薬依頼書を作成している。	・事業所にて子どもが安心して療育を受けることができるよう、今後も継続する。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・契約時に食物アレルギーについて聞き取りを行っている。	・職員間で共有し配慮を行う。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
心	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・過去の事例は綴っており、報告書の作成も行っている。	・同じことを繰り返さないよう、改善策を話し合い職員に周知徹底する。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・法人内に委員会があり、虐待防止に向けての研修会に月に1度参加している。	・今後も虐待防止に努め、研修等には積極的に参加する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・契約書に記載している。	・身体拘束が必要な場合は子どもや保護者へ説明を行い、個別支援計画書に記載し同意を得る必要がある。また、身体拘束については事業所内で細やかな内容を話す必要がある。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。